

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,430,248,389	4,447,377,360	△ 17,128,971	固定負債	0	0	0
有形固定資産	1,028,771,086	1,056,769,812	△ 27,998,726	長期借入金	0	0	0
土地	505,945,014	505,945,014	0	学校債	0	0	0
建物	495,579,821	515,083,757	△ 19,503,936	長期未払金	0	0	0
構築物	460,613	506,676	△ 46,063	退職給与引当金	0	0	0
教育研究用機器備品	11,664,882	15,616,159	△ 3,951,277				
管理用機器備品	3,896,774	4,604,928	△ 708,154				
図書	0	0	0	流動負債	249,330,850	235,822,206	13,508,644
車両	11,223,982	15,013,278	△ 3,789,296	短期借入金	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	1年以内償還予定学校債	0	0	0
特定資産	93,430,972	90,411,197	3,019,775	手形債務	0	0	0
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	未払金	21,492,195	20,277,926	1,214,269
第3号基本金引当特定資産	0	0	0	預り金	7,152,601	7,026,483	126,118
(退職)引当特定預金	93,430,972	90,411,197	3,019,775	前受金	219,755,471	208,517,797	11,237,674
その他の固定資産	3,308,046,331	3,300,196,351	7,849,980	仮受金	930,583	0	930,583
敷金	21,123,400	18,035,000	3,088,400	未払消費税納税引当金	0	0	0
電話加入権	0	0	0	収益事業勘定	0	0	0
施設利用権	2,283,750	2,283,750	0				
ソフトウェア	1,214,100	1,581,300	△ 367,200				
有価証券	72,693,697	67,563,697	5,130,000				
収益事業元入金	3,210,400,764	3,210,400,764	0	負債の部合計	249,330,850	235,822,206	13,508,644
保証金・預託金	330,620	331,840	△ 1,220				
流動資産	1,292,305,135	1,209,540,777	82,764,358	純資産の部			
現金預金	872,125,801	755,724,560	116,401,241	科目	本年度末	前年度末	増減
未収入金	905,909	685,424	220,485	基本金	1,400,881,982	1,392,530,242	8,351,740
貯蔵品	4,359,026	4,289,456	69,570	第1号基本金	1,400,881,982	1,392,530,242	8,351,740
前渡金	4,792,486	4,611,706	180,780	第2号基本金			
立替金	106,373	688,546	△ 582,173	第3号基本金			
前払金	29,085,231	30,283,220	△ 1,197,989	第4号基本金			
仮払金	258,000	224,248	33,752				
預け金	0	0	0	繰越収支差額			
収益事業勘定	380,672,309	413,033,617	△ 32,361,308	翌年度繰越収支差額	4,072,340,692	4,028,565,689	43,775,003
資産の部合計	5,722,553,524	5,656,918,137	65,635,387	純資産の部合計	5,473,222,674	5,421,095,931	52,126,743
				負債及び純資産の部合計	5,722,553,524	5,656,918,137	65,635,387

(注記)

注記 重要な会計方針	
重要な会計方針の変更等	なし
減価償却額の累計額の合計	374,196,691 円
徴収不能引当金の合計額	0 円
担保に供されている資産の種類及び額	担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。 土地 146,395,605円 建物 287,319,194円
翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	0 円
当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策	有している
その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項	なし